



大山崎町観光担当になりました

大山崎町役場 企画財政課
西井知佳

はじめまして。大山崎町役場 企画財政課の西井知佳と申します。6月より、大山崎町の観光担当となりました。初めてのことばかりで、至らないところも多々あるかと思いますが、OFGの会員の皆様をはじめ、町民の皆様のお力添えをいただきつつ、各方面に大山崎町の魅力をアピールしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

この度、池内会長からこの場をお借りしてご挨拶させていただく機会を頂戴しました。ありがとうございます。拙い文章ではございますが、最後までお付き合いください。

私は生まれも育ちも長岡京市で、大山崎町は子供のころから身近な地域でした。今現在、私は2人の子供の子育てをしているのですが、親になってはじめて、子供のころから大山崎町の自然を身近に感じられる環境にいたことがいかに恵まれていたのかを実感しました。暑さが落ち着くころには子供たちと天王山でのハイキングを楽しんだり、季節の植物を探したりして、子供たちにも身近なところに広がる自然を知ってほしいと思います。

自然に囲まれた大山崎町ですが、古い歴史もありますので、私の知らない魅力がまだまだたくさんあると思います。先日、聴竹居と宝積寺の見学に行か

せていただきました。近くにいながらどちらも初めてお伺いしたのですが、とても素晴らしかったです。

聴竹居では、駅前から少し離れただけなのに、鳥のさえずりと風の音を感じられる穏やかな空気に驚きました。外に出ているだけで汗ばむ気候だったにもかかわらず、建物内は冷房がなくても涼しく、地下を通過して建物の中に吹き込む風の涼しさを感じられたのは貴重な経験でした。細部までこだわって丁寧につくられた建築を実際に見て、この家で当時の生活の豊かさを想像することができました。

宝積寺では、まず、坂を上った先にある三重塔に圧倒されました。決して大きな建造物ではないのに、歴史の重みを感じ、秀吉の思いがまだ生きているのではないかと思われました。その後に閻魔堂の見学もさせていただいたのですが、こちらはとても迫力があり、前に座るとまるで自分が審判を受けているかのような気分になりました。

見学を終えて、私には知らないことがまだまだたくさんあると改めて実感しました。この町に携わる皆様に教えていただきながら、この町の魅力を1つ1つ知っていきたいです。そして、大山崎町をまだ知らない人たちにこの町の魅力を伝えていき、古くから大山崎町を知っている方と新しく大山崎町を知ってもらった方を繋いでいくような存在を目指していきたいです。まだまだ未熟ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。

7月～8月の活動実績

- 主なガイド
 - ・8月6日(水) 鏡田おしゃべり会(出前ガイド) 13名
 - ・8月23日(土) 下植野南町内会(出前ガイド) 32名
- 会の行事など
 - ・7月17日(木) 第11回ふるさと案内人養成講座3講目

活動予定

- 主なガイド予定
 - ・9月20日(土) 大山崎ミニ探訪「西国街道を歩く」 4班
 - ・9月20日(土) デイサービスひだまり(出前ガイド) 3班
 - ・9月27日(土) 兵庫県シニアカレッジ「あるこう会」 3班
 - ・10月2日(木) 京都府教職員互助組合退職互助部中京支部 4班
 - ・10月4日(土)～11月30日(日) 秋の定点ガイド 全班
 - ・10月25日(土) 秋の天王山ウォーキング2025 全班

2. 行事予定

- ・9月16日(火) あちこち学習山歩87「続 山崎合戦・あれこれ」
- ・9月26日(金) 第11回ふるさと案内人養成講座4講目
- ・10月16日(木) 第11回ふるさと案内人養成講座5講目
- ・10月21日(火) あちこち学習山歩88「太閤道」
- 大山崎町歴史資料館 小企画展 9月2日(火)～10月5日(日)
「京都-大阪間 鉄道あれこれ」
- アサヒグループ大山崎山荘美術館
9月20日(土)～12月7日(日)
「美術館で大航海！ ～コレクションをたどって世界一周～」
- 講演会 9月21日(日) 於：ふるさとセンター
「山崎合戦への道－史料から読む秀吉と西国街道」
- 大山崎町歴史資料館 第33回企画展
10月25日(土)～11月30日(日)
「三川合流と淀・大山崎－淀川と沿岸の歩み」

7-9月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館		出前ガイド		定点ガイド		合計	
7-9月	0件	0人	0件	0人	25件	38人	2件	45人	0件	0人	27件	83人
7年度累計	25件	210人	1件	23人	135件	300人	2件	45人	241件	782人	404件	1,360人

大山崎ミニ探訪「山崎合戦の地を歩く」

6月21日(土)、早くも夏の到来を思わせる天候の下、第3回ミニ探訪「山崎合戦の地を歩く」を開催しました。山崎合戦が勃発した天正10年、今から443年前と同じような季節に、ゆかりの地を訪ねる企画です。

参加者は一般の皆様が23名、OFG会員16名、計39名と予想を上回り、嬉しい誤算となりました。そしてもう一つの驚きは、光秀の部下と秀吉に扮した武将好きのお二人が甲冑と陣羽織姿で登場、さらに前川町長も参加されたことでした。春の天王山ウォーキングが雨天中止となり、ガイドから遠ざかっていたメンバーも、いつもより力が入ります。



9時30分、まずは出前ガイドの演目「山崎の合戦」。電子紙芝居で合戦の概要を楽しんでいただくのですが、今日のために効果音を入れたり、途中でコメンテーターが登場したりと、工夫を凝らしたアレンジを加えました。結果は? 「ちょっぴり受けた」と自画自賛です。

10時からウォーキングへ。開戦の地「東黒門跡」から「久我堰」、激戦地の小泉川畔「天王山夢ほたる公園」、そして光秀の本陣跡「境野1号墳」へと向かい、山川の眺望や歴史ばなしで空想をも楽しみながら、あっという間の2時間30分でした。

(3班 市原寛之 記)



～わたしのふるさと～

私の故郷は、秀吉が京の町に天正14年に建てた聚楽第の跡です。小学校の名前も聚楽小学校(平成9年に学区統合)でした。聚楽とは、長生不老の楽しみをあつめる、と言う意味らしいです。

学区内には、聚楽第に因んだ町名の東堀町、須浜町や居を構えた武将に纏わる如水町、北殿町があり、発掘調査では金箔瓦も出土し、聚楽第内の梅雨の井跡なども有りました。

また西陣織が盛んな地区で、家業は糸関係が多く、天正の地割りで出来た、鰻の寝床の町家に織機の音が響き、千本通の繁華街は織子、職人さんで賑わい、旦那衆は上七軒の花街へ出かけ、そんな中を狭軌の市電チンチン電車が走る賑やかな街でした。

職人の高齢化、和装需要の落ち込みで一時的な活気はなくなりましたが、伝統技術を護るため、若い人の感覚を取り入れた新しい取り組みも有る様です。

(1班 山本紹夫 記)

私の故郷は京都市左京区岡崎です。遊び場と言えば吉田山・黒谷・・・、鬼ごっこ・かくれんぼ・イモリ釣りなど、よく遊びました。

幼稚園の卒園式で、2年間皆勤の私は答辞を読むことになりました。全く覚えようとしないうちに、母は吉田山へ連れて行き練習させました。

大文字山は、毎年8月16日の夜明け前に登りました。途中で夜が明けはじめ、頂上につくと汗をぬぐいながら眼下の景色を眺めていました。下山すると冷えたラムネを買ってもらい、急ぎ足で家に帰るとお赤飯が蒸しあがり、送り団子が仏壇に供えられていました。昼から親戚が集まり、お膳にご馳走が並ぶと16日生まれの私と17日生まれの姉の誕生会が始まります。夜8時、物干し場で送り火を観て先祖を送ります。お盆のこの日は、今も心に残る嬉しい一日です。我が家の3人の子ども達も大文字山登りを楽しみ、今では孫達と一緒に登っています。(2班 森 圭子 記)



～大阪府高齢者大学校のみなさんを迎えて～

6月11日(水)、大阪府高齢者大学校のみなさん28人を4班の須田と高垣が迎えました。前日からの激しい雨で、予定を短縮しての案内となりました。

午前10時半にJR山崎駅前集合、妙喜庵前で茶室待庵を簡潔に説明後、離宮八幡宮まで移動。東門から入るも本殿が見渡せる正面の境内は足元がぬかるんで水たまりもあり、残念ながら手前での説明となりました。会員のみなさんにご持参のマイク受信機を装着されており、離れていても聞き取って頂け、説明がしやすかったです。

次の関大明神は雨のため省略、大山崎町歴史資料館へ向かいました。受信機装着だと歩きながらも説明できて時間を有効活用できるのですが、風雨のため後方の方には聞き取りにくかったのが反省点で

す。

資料館では、いろいろ質問を受け、好奇心と学ぶ姿勢、熱意を感じました。特に待庵の原寸大模型には興味深く聞き入っておられました。

その後レストランまでお送りし、昼食後再びお迎えにあがって、アサヒグループ大山崎山荘美術館まで一緒にゆっくり歩きました。60～80代で歩くのが厳しい方もおられるかと心配しましたが、全員歩けるという返事をいただき安堵した次第です。庭園内の説明にも驚嘆、感動されておられました。午後1時半ごろ美術館入口まで案内し、ガイドを終えました。その後みなさん1時間半位のんびりと美術館鑑賞を楽しまれたそうです。

(4班 高垣真二 記)